

2013年7月19日

報道各位

JFN（全国FM放送協議会）事務局  
TOKYO FM 編成制作局

# 「JFN賞2013」各賞決定！

## 「CM大賞」

**TOKYO FM「わたしと私」(120秒)**

(広告主:キャノンマーケティングジャパン株式会社)

## 「統一部門 スピードラーニング賞」

**FM石川「訛り」(80秒)**

## 「テーマ部門 JA全農賞」

**FM長崎「夢みたいな時代」(60秒)**

## JFN学生ラジオCMコンテスト2013 最優秀賞

**渡辺 桂さん(東京農業大学/40秒)**

TOKYO FMをはじめJFN（全国FM放送協議会）加盟38局が、放送活動並びに新規事業の活性化と質的向上を目指し、社会的影響力や企画力からJFNグループ全体の発展に大きく貢献した局を表彰する「JFN賞」各賞が決定いたしました。

本年度「JFN賞2013」の表彰式は7月18日、TOKYO FMホールで行われ、今年の「企画部門」大賞には、TOKYO FM「世界初！人工知能搭載のしゃべるクルマ“プチェコ”による統合メディア展開」が選ばれました。

そして、「CM部門」の最優秀作品に贈られる「CM大賞」はTOKYO FM制作の「わたしと私」（120秒／広告主：キャノンマーケティングジャパン株式会社）、第1部門最優秀賞（20秒以内）には、FM栃木制作の「不器用」（20秒／広告主：JA栃木中央会）、第2部門最優秀賞（21秒以上）には、FMぐんまの「数字クイズ」（30秒／広告主：群馬県牛乳販売農業協同組合連合会）がそれぞれ選ばれました。

さらにJFN加盟各局が制作、優秀作を決する「統一部門賞」では、今回は株式会社エスプリライン様の協賛を得、「スピードラーニング賞」を競った結果、FM石川の「訛り」（80秒）が選出されました。全国農業協同組合連合会の「JA全農賞」を競ったテーマ部門ではFM長崎「夢みたいな時代」（60秒）が選出されました。

前々回のJFN賞より創設された天野祐吉賞、小野田隆雄賞、弘兼憲史賞には、広島FM制作の「効果音」（60秒／広告主：全国農業協同組合連合会）、FM愛媛制作の「農！」（60秒／広告主：全国農業協同組合連合会）、FM大阪制作の「ステレオ」（20秒／タイガー魔法瓶）がそれぞれ選ばれました。

今回、2回目の開催となった全国の学生が自身の学校をPRするラジオCMコピーを競う「JFN学生ラジオCMコンテスト2013」は、東京農業大学の渡辺桂さんが最優秀賞を、小樽商科大学の

横濱大成さん、鹿児島大学の帖地環さんがそれぞれ優秀賞を獲得しました。

今回の「JFN 賞 2013」について、**特別審査員長の天野祐吉氏**は「だいたいラジオ CM は言葉が多すぎる。余計なことをいっぱい説明している。その点、天野祐吉賞となった広島 FM 制作の「効果音」（60 秒／広告主：全国農業協同組合連合会）は、白菜をザクッと切る音、小豆で波の音を出す、とか“音”が主役となっている。言葉というのは、文字を書くことではなく、音も言葉であり、それこそがラジオ CM の本道だと思う。

全体的にはレベルが上がっているが、CM を取り巻く環境が大きく変わろうとしている。中央集権的で成長ばかり追いかける経済体制が壊れ、グローバリズムも破綻が起きて、これからは地域ごとにコミュニティ経済を作っていく新しい時代。地方のラジオ局は、もう「地方」ではない。それぞれの地域が中心になって日本を動かしていく。それを引っ張っていくのが、地域の放送局だと思う。コマーシャルも地域に密着した形に変わっていく。ぜひ皆さんが良い仕事をされることを期待している」とエールを贈りました。

**特別審査員の小野田隆雄氏**は、自身で選出した小野田隆雄賞 授賞作品、FM 愛媛制作の「農！」（60 秒／広告主：全国農業協同組合連合会）について、「最初からコレだ！と思った。まず全農で農！だというのが面白いし、若者が若者について喋っているのはこれ 1 本だった。コピーワークは荒削りだが、精神がすごくいいと思った。全体としては、とても面白い作品が多かった。

しかし、一定の高さの山が並んでいる“八ヶ岳”のようで、一見見栄えはいいが、じゃあどの山が一番良かったか？という“富士山”はなかった気がする。メディアの発達によってラジオはクラシックなメディアになっているが、私はコピーライターをやっていて、カメラマンに“君たちはいいね、いつまでたっても道具が同じで。鉛筆 1 本あればいいんだから”と言われたことがあるが、ラジオも“耳で聴く”という 1 点しかない。制作者はいつもそれを忘れないで欲しい」と述べました。

また、同じく**特別審査員の弘兼憲史氏**は、弘兼憲史賞 授賞作品 FM 大阪制作の「ステレオ」（20 秒／タイガー魔法瓶）について「炊飯器でご飯を炊きながら、その蒸気を利用しておかずを作れる、という商品の特性を、“おかず”と“ごはん”の声を、同時に違う方向から出して、最初は“おかず”の音が大きい、だんだん“ごはん”の音が大きくなっていくという面白い試みが気に入った。この他、大変印象に残ったのが、TOKYO FM の「愛車へのラブレター Z33 へ」（150 秒／日産自動車株）で、東日本大震災で愛車が流されてしまったが、また同じ車を買った、という内容の CM。多くの方々が亡くなったのにこんな CM を作っていいのか？と思ったが、これはリスナーから寄せられた手紙を元にした、と聞いて、驚きを感じた CM だった。またコピー賞の FM 三重の「釣堀行くなら正徳丸」（20 秒／海上釣堀正徳丸）には荒削りな面白さがあった」と評価しました。

各賞の結果は次の通りです。

## ◎JFN 賞・企画部門

「JFN 賞・企画部門」は加盟各局がエントリーした年間の放送・事業・営業活動事例を JFN 各委員会委員長から成る「JFN 賞選考委員会」にて選定されます。今年は、エントリー 27 社 48 件の中から、以下の各賞が決定しました。

### ■大賞

#### **TOKYO FM／世界初！人工知能搭載のしゃべるクルマ“プチェコ”による統合メディア展開**

JFN38 局フルネット番組「Honda Smile Mission」のパーソナリティとして、しゃべるクルマ“プチェコ”がデビュー。Honda のハイブリット車「FIT」に人工知能を搭載し、日々の取材内容や 1 日 2 万件を超える SNS の情報を学習。全国の取材先の情報を番組のほか、SNS でも拡散。リニューアルした番組サイトには従来の 10 倍の 200 万のアクセスが生まれた。アジア最大の広告祭 Spikes Asia 12 やロンドン・インターナショナル・アワード 2012 で各賞を受賞した。

（営業部門申請）

#### ■優秀賞

##### FM 仙台／エフエム仙台開局 30 周年記念特別番組 積水ハウス PRESENTS

###### 「明日があるさ 島の絆は消えず」

東日本大震災により被災率 90%を超えた女川町。その女川港から約 7 キロ沖にある出島（いづしま）においても島民約 450 人のうち、25 人が亡くなるなどの被害を受け、現在は出島のほか他市町の仮設住宅などに分かれて暮らしている。島民の心や絆を取り戻し、明日へ進むため、島の伝統芸能である「獅子風流（ししふり）」の伝承や、お祭りの再興、先生と生徒による打楽器バンドの活動を追ったドキュメンタリー。（番組部門申請）

#### ■優秀賞

##### FM AICHI／新規事業開発で眠れる資産の有効活用の実現

FM AICHI の眠れる資産、本社 1 階の事務所スペースを活用し、英アイドル「ONE DIRECTION」オフィシャルグッズショップをプロデュース。放送外収入を獲得したほか、中高生を中心とした若年層とのコミュニケーションの場をつくり、近い将来のリスナー育成にも寄与した。（営業部門申請）

#### ■優秀賞

##### FM 福岡／ラジオドラマ「絆よ、悠久なれ、～孫文と九州人～」

中国の国父とまで言われる孫文と彼の歩みを九州人との心と心の繋がりや絆とともに、1 話 55 分、全 12 回にて展開。1 話でも完結し、また全 12 話がどこかで連動しあう作りとなっている。ひとつの事象を多角的に見つめる工夫もなされている。制作スタッフは全て九州人という完全地元制作ラジオドラマは九州 7 局ネットで放送された。（番組部門申請）

#### ■奨励賞

##### FM 北海道／北海道 6 都市同時開催 超巨大街コン「G コン」

「人と人の出会いで北海道を元気に」をテーマに男女、異業種の人たちが出会う“街コン”の北海道版、『G コン』を各回約 2,500 人を集め、道内 6 都市で同時開催（計 4 回開催）。参加者は協力飲食店を“はしご”することで地域活性化に貢献。開催当日は特別生放送番組を編成し、スタジオからの乾杯の合図で 6 都市同時にスタート。レポーターが各地の盛り上がりを伝えた。今後は JFN ネットワークを活かし、全国複数箇所での開催も視野に入れる。（営業部門申請）

#### ■奨励賞

##### K-mix／番組『Rado the boom!』コラボ企画「旨い酒 造っ樽」

酒造メーカーと番組がコラボレーション。消費者が飲酒するきっかけ作りとして、番組パーソナリティが日本酒作りに参加。番組 10 周年記念として、オリジナル商品として発売し、短期間で驚異的な売上を達成。売上の一部は東日本大震災の復興支援として寄付されるなど、リスナー、スポンサー、小売など、各方面から評価される企画となった。（営業部門申請）

#### ■特別賞

##### TOKYO FM /三菱商事 presents 「FM FESTIVAL2012 未来授業～明日の日本人たちへ～」

###### ビデオポッドキャスト 累計 1,000 万ダウンロード突破。

若者のラジオ離れが喧伝される中、大胆な「知」のアプローチで日本の置かれている状況を俯瞰しながら高次元の教養と知恵を提供し、若者とラジオの深いつながりを目論見としたシリーズ企画。養老孟司、北川智子、ロバート・キャンベル、福岡伸一、小山薫堂を講師に迎え、東京・京都・熊本で行われた特別授業は、日本の未来を担う大学生を中心とした若い世代に向けて、混迷する時代を生き抜くヒントとなった。（番組部門申請）

#### ■特別賞

##### FM 徳島／平成 24 年度放送事故通期ゼロの達成

事故の原因を検証し、その都度チェック体制の見直し、強化を行ってきた事も無事故の大きな要因であるが、それ以上に社内の事故防止への意識が向上したことが 1 年間の無事故へと繋がった最大の理由である。業務関係者すべてが各担当者の個性まで踏まえて、チェック作業をカスタマイズさせながら対応するのが常となっており、急な変更などが生じた場合、まずオフィス内で

関係者への声掛けを大きな声で行うことも常識化している。(事故対部門申請)

#### ■地域賞

##### FM 青森／開局 25 周年記念 エフエム青森 FESTA!～FM ラジオまつり～

開局 25 周年の記念事業として、リスナーに 25 年間の感謝を伝えるため、出演者とスポンサーに直接会える「お祭り」として企画。1 日 3 回のローカル番組生放送に加え、JFNC 制作番組の公開録音イベント等を実施。スポンサーは 22 社を数え、3 日間の開催で 2 万人を動員。リスナー、スポンサー、放送局の 3 者の一体感が醸成されるイベントとなった。(営業部門申請)

#### ■地域賞

##### FM 滋賀／エネルギーの地産地消～市民共同発電所事業～

「環境省 平成 24 年度 NPO・NGO の民間団体とメディアとの連携支援事業」に全国でラジオ単営局として唯一採択された。滋賀県では、太陽光発電を市民からの出資で設置、発電で得られた利益を地域振興券で地域に循環する先進的な取り組み「市民共同発電所」が実施されている。FM 滋賀は NPO 団体と連携し、取組み紹介から、出資者の公募までを番組、CM、フリーペーパーにて実施した。(営業部門申請)

#### ■地域賞

##### 広島 FM／広島エフエム放送特別番組

###### 『広島の街やあね 川だらけじゃけんねえ～山下勇三「広島の川」より～』

1975 年に発表された「広島の川」の歌詞は、キューピーの広告などを手がけたことで知られるイラストレーターの山下勇三さんが、故郷を思って書いたものだった。広島弁で綴られる歌詞は、一見淡々と広島的情景を歌っているようだが、その裏には哀しくも激しい核への思いが込められていた。親族や関係者への取材を通して、同氏の今に伝わる思いを辿った。(番組部門申請)

#### ■地域賞

##### FM 熊本／ラジオドラマ「17 歳の保健室」

◇平成 24 年 6 月 4 日 (月)～7 月 27 日 (金) まで◇月-金 21:55～22:00 放送

熊本県は、10 代の人工妊娠中絶実施率が全国平均よりも高い。このような状況下、10 代の若者に正しい性の知識を持ってもらうために、熊本大学河村准教授の指導の下、大学生が脚本を執筆、県内の大学、高校生をキャスティングし制作した。ドラマは性に関する 8 つのエピソードを月～金曜日の 5 分ベルト番組として、8 週にわたって放送された。(番組部門申請)

#### ■地域賞

##### FM 沖縄／ハッピーアイランド スペシャル in 沖縄国際洋蘭博覧会

沖縄国際洋蘭博覧会の最大のイベントは「オーキッドブライダル」。何らかの理由で結婚式を行っていないカップルを募り、蘭で飾られた会場をチャペルに見立てて行われる結婚式は、今年 19 回目を数える春の恒例感動イベントとして、すっかり定着している。会場で結婚式が行われている間、応募動機をスタジオから録音で紹介。式後の新郎新婦にインタビューを届けるシーンは毎年感動と共感と呼んでいる。(番組部門申請)

### ◎JFN 賞・CM 部門

JFN 加盟 38 社の CM 制作の向上と CM を通じて地域社会の文化に貢献することを目的として優秀 CM 作品を表彰するのが「JFN 賞・CM 部門」です。

今年の審査対象作品は 2012 年 6 月 1 日から 2013 年 5 月 31 日までの間、JFN 加盟各局が自社で企画または制作、放送した CM です。斬新な発想や演出と技法、地域性、公共性、影響力 (CM 効果) が審査基準となります。エントリー総数 156 本のなかから大賞のほか、部門各賞 (20 秒以内、21 秒以上)、加盟各局が協賛企業 (今年は株式会社エスプリライン「スピードラーニング」) の CM 制作を競う統一部門、また、全国農業協同組合連合会の CM 制作を競うテーマ部門が決定しました。特別審査員長の天野祐吉氏 (コラムニスト)、そして、小野田隆雄氏 (コピーライター)、弘兼憲史氏 (漫画家) の特別審査員をはじめ、企業審査員、JFN 各局の CM 制作担当者 38 名により公開審査会が行われ、以下の各賞が決定しました。

**【JFN CM 大賞】**

TOKYO FM 「わたしと私」(120秒/キヤノンマーケティングジャパン(株))

**【第1部門 最優秀賞】※20秒以内**

FM 栃木 「不器用」(20秒/JA 栃木中央会)

**【第2部門 最優秀賞】※21秒以上**

FM ぐんま 「数字クイズ」(30秒/群馬県牛乳販売農業協同組合連合会)

**【統一部門 スピードラーニング賞】 エントリー数 80秒=38社 38本**

FM 石川 「訛り」(80秒/株式会社エスプリライン)

**【テーマ部門 JA 全農賞】 エントリー数 60秒=38社 38本**

FM 長崎 「夢みたいな時代」(60秒/全国農業協同組合連合会)

**【JFN 学生ラジオ CM コンテスト 2013】**

最優秀賞 渡辺 桂さん (東京農業大学/40秒)

優秀賞 横濱 大成さん (小樽商科大学/20秒)

優秀賞 帖地 環さん (鹿児島大学/40秒)

**【奨励賞】**

○地域ブロック賞

北海道・東北 AIR-G' (FM 北海道)「空飛ぶお医者さん」(株北海道エアシステム/90秒)

関東・甲信越・静岡 TOKYO FM「愛車へのラブレター Z33へ」(日産自動車(株)/150秒)

中部・北陸 FM とやま「そわそわしてる」(オートクチュール宝飾サロン J.C バール/20秒)

近畿・中国・四国 FM 大阪「じゃー」(タイガー魔法瓶/20秒)

九州・沖縄 FM 鹿児島「フランス帰りの姑」(さつま無双/60秒)

○出演者賞: FM 熊本「幸せのごはん!!」(全国農業協同組合連合会/60秒)

○コピー賞: FM 三重「釣堀行くなら正徳丸」(海上釣堀正徳丸/20秒)

**【制作者審査員賞】**

TOKYO FM 「わたしと私」(キヤノンマーケティングジャパン(株)/120秒)

**【天野祐吉賞】**

広島 FM 「効果音」(全国農業協同組合連合会/60秒)

**【小野田隆雄賞】**

FM 愛媛 「農!」(全国農業協同組合連合会/60秒)

**【弘兼憲史賞】**

FM 大阪 「ステレオ」(タイガー魔法瓶/20秒)